

「北九州SDGs登録制度」申請書

北九州市長 様

所在地 北九州市若松区響町1丁目62番

団体名 西日本ペットボトルリサイクル株式会社

代表者 代表取締役社長 千々木 亨

「北九州SDGs登録制度」について、関係書類を添付の上、下記のとおり申請します。

団体概要

(ふりがな)	にしにほんぺっとぼとりさいくるかぶしきかいしゃ	
団体名	西日本ペットボトルリサイクル株式会社	
(ふりがな)	だいひょうとりしまりやくしゃちょう ちちき とおる	
代表者氏名	代表取締役社長 千々木 亨	
所在地	市内事業所	北九州市若松区 響町1丁目62番
	主たる事業所	
事業概要	ペットボトルの再生処理事業 再生PET樹脂の製造販売	
企業・NPO法人等の別	企業	
業種（企業のみ）	製造業	
従業員数（企業のみ）	51～100人	
ホームページの有無	有	
ホームページURL	https://www.npr-fpco.com	



































連絡先

担当部署	総務部
担当者	総務部長 辻野 英一
電話番号	093-761-7733
メールアドレス	Hidekazu.Tsujino@npr.fpco-net.co.jp

提出書類

- ・様式1：SDGs達成に向けた取組状況（チェックシート）
- ・様式2：SDGs達成に向けた宣言書
- ・様式3：地域課題への取組み

SDGs達成に向けた取組状況 (チェックシート)

No.	チェック項目	分類	関連する認定・表彰制度 取得していれば「具体的な取組内容」の記載は不要です	関連する主なゴール・ターゲット			具体的な取組内容	最も関連性のあるゴール・ターゲット	最も関連性のある「北九州市SDGs未来都市計画」の指標や取組
1	温室効果ガスの排出を抑制するため、エネルギーの使用状況の把握や使用効率の改善、再生可能エネルギーの利用などに取り組んでいる。	環境 (CO2削減)	エコタウン事業認定制度					ゴール	指標
				7.2	9.4	13.3		ゴール7	環境 (1) ①
2	事業活動等から発生する廃棄物の管理及び処理を適切に行っている。 3R (リデュース、リユース、リサイクル) を実施するなど、循環型社会の構築に取り組んでいる。	環境 (廃棄物削減)	エコタウン事業認定制度					ゴール	指標
				9.4	12.3、12.5	13.3		ゴール12	環境 (2) ②
3	事業に伴う調達 (原材料、部品、資材、サービス、使用する設備や事務用品等) について、環境負荷や人権などに配慮している。	環境・社会 (サプライチェーン管理)	エコタウン事業認定制度					ゴール	指標
				10.2	12.2	13.3		ゴール12	環境 (1) ②
4	商品やサービスの安全性を担保する体制を整備すると共に、品質の向上や新たな技術の開発等に取り組んでいる。	経済・社会 (技術向上)	北九州市環境未来技術開発助成制度					ゴール	指標
				8.2	9.5	12.5		ゴール12	環境 (1) ②
5	環境に配慮した商品やサービスの開発や、社会課題の解決につながる商品やサービスの提供に取り組んでいる。	環境・経済・社会 (商品開発)					<ul style="list-style-type: none"> ・使用済みPETボトルの再生処理 ・高品位高機能の再生PET樹脂の生活必需品用途への供給によるプラスチック循環社会構築への貢献 	ゴール	指標
				7.2	9.4	13.3		ゴール12	環境 (1) ②
6	長時間労働の防止、テレワーク等の多様な働き方の導入など、良好な労働環境の整備に取り組んでいる。	経済・社会 (労働環境整備)					<ul style="list-style-type: none"> ・テレワーク環境の整備・社内外向け主要会議のリモート会議化 ・多様な働き方を支援する勤務制度の導入 ・育児、介護、ボランティア (裁判員、検査審査員、災害復興支援他) ・良好な職場環境実現のための職場インフラ拡充 ・受動喫煙防止型喫煙所設置、福利厚生視察リユア7拡充 	ゴール	指標
				3.4	5.5	8.8		ゴール8	社会 (4) ①
7	年齢、性別、国籍、障害の有無による不当な差別を防ぐ体制の整備等により、女性活躍など、多様な人材が活躍できる環境の構築に取り組んでいる。	社会 (ジェンダー平等)					<ul style="list-style-type: none"> ・幅広い年齢層の人材雇用、身体障害者雇用 ・障害、性別、年齢に関わらない能力と担当業務に基づく賃金体系の採用 (60歳年滿後の再雇用者含む) 	ゴール	指標
				5.5	8.5、8.8	10.2		ゴール8	社会 (2) ①
8	セクシャルハラスメントやパワーハラスメント、マタニティハラスメントなど、あらゆるハラスメント行為を防止するための体制を整備するなど、良好な職場環境の構築に取り組んでいる。	社会 (ハラスメント防止)					<ul style="list-style-type: none"> ・ハラスメント防止規定の下で社員教育実施 ・ハラスメント委員による監視 ・第三者への通報ルートの設置と社員への周知 ・社員間懇話の機会をとおした職制・年齢・社歴に関わらず自由に語り合える風土の醸成 	ゴール	指標
				5.1、5.4	8.8			ゴール10	社会 (2) ①
9	疾病予防や早期発見、良好なメンタルヘルスの維持など、従業員の健康維持に取り組んでいる。	社会 (健康経営)					<ul style="list-style-type: none"> ・社員健康管理プログラム推進 ・定期健康診断、健康相談、職場環境測定改善、ストレスチェック、集団予防接種他) ・社員健康増進プログラム推進 ・健康増進施設拡充、スポーツ大会企画支援 (ゴルフコンペ等) 	ゴール	指標
				3.4	8.8			ゴール3	社会 (3) ①
10	全ての従業員にスキルアップのための研修等の機会を提供すると共に、社会に役立つ情報の外部への発信やインターンシップの受入れなど、社内外にわたる人材の育成に取り組んでいる。	経済・社会 (人材育成)					<ul style="list-style-type: none"> ・従業員能力開発・啓発プログラム推進 ・通信教育講座提供 (期間内終了者へ受講費80%支援)、海外研修プログラム (年1名目) ・プラスチックリサイクルをテーマに市民の環境教育活動展開。 ・市民の工場見学受入れ、一般社団法人北九州エコタウンネットワークへの運営参画、北九州市主催エコテクノでのブース出展、市民向け講演、中高校生向け講演 	ゴール	指標
				4.4	8.2、8.6	17.17		ゴール4	社会 (4) ②
11	反社会的勢力の排除、汚職や贈賄・不正競争行為の防止など、法令を遵守する体制を整備している。	社会 (不正防止)					<ul style="list-style-type: none"> ・行動憲章・行動規範をとおした反社会的勢力との取引禁止と法令遵守を社員への徹底 ・すべての対外契約文書への反社会的勢力と取引を禁ずる条項の明記 ・第三者機関の監査によるガバナンス・法令遵守状況の定期的確認 (連続認定獲得) ISO、GRS、日本容器包装リサイクル協会、鋼エフピコ監査 	ゴール	指標
				16.1、16.3、16.5				ゴール16	社会 (2) ①
12	自社のSDGsの取組みをマネジメントする担当者や担当部署を設置し、CSV (※) などを適切に推進すると共に、災害時等の事業の継続や事業承継など持続可能な事業経営に取り組んでいる。	経済・社会 (持続可能性)					<ul style="list-style-type: none"> ・経営リスクに継続的に対応する上での業務運営と担当を明記した社内規程を運用中 ・リスク管理、危機管理、ソーシャルメディア規程、情報セキュリティ、与信管理等 ・SDGs推進委員会を幹部会内に立ち上げ2021年9月より活動を開始 	ゴール	指標
				11.b	12.6	13.1		ゴール12	社会 (4) ア

※CSV (Creating Shared Value: 共通価値の創造)
企業が社会課題に取り組み、社会に対して価値を創造することでビジネス (経済的な価値) を創出すること。

SDGs達成に向けた宣言書

宣言日 令和 3年 9月 30日

団体名 西日本ペットボトルリサイクル株式会社

私たちは、SDGsの内容を理解し、SDGsの達成に向けた方針及び取組を以下のとおり宣言します。

◆ SDGs達成に向けた取組方針等

弊社は「環境保護と地球温暖化防止」の重要性を認識し、法令を遵守し、使用済みペットボトルの再生事業を通して、2030年のSDGs達成年に「資源循環型社会」「低炭素社会」の構築と「環境負荷の低減」「北九州エコタウンや地域との共生」を目指します。

◆ SDGs達成に向けた重点的な取組

達成を目指す分野に「○」		SDGs達成に向けた重点的な取組	指標 (KPI) ・ 目標値 ※目標値は、いずれかの目標年で設定してください。		最も関連性のある「北九州市SDGs未来都市計画」の指標や取組 ※どちらか一方のみの記載で構いません。
経済		製造工程用エネルギー源（重油、電力）の低炭素型エネルギー源（LNG、原子力、再生可能エネルギー）への転換	指標 (KPI)	低炭素型エネルギー比率 <ガジール換算>	指標
社会			目標値		環境（1）①
環境	○		2030年	エネルギー比率の向上（2020年0%） ※具体的な目標値は、2022年3月に決定	具体的な取組
			(その他の場合) ()年		環境（1）ア
経済	○	高機能用途（食品容器、ボトル、長繊維、高強度繊維）への高付加価値再生PET樹脂販売拡大	指標 (KPI)	高機能用途向け製品出荷量	指標
社会			目標値		環境（1）②
環境	○		2030年	出荷量の向上（2020年15千t） ※具体的な目標値は、2022年3月に決定	具体的な取組
			(その他の場合) ()年		環境（2）ア
経済		工場見学受け入れ、環境講義による市民への環境教育の機会提供	指標 (KPI)	環境教育受講累積人数 (工場見学講義受講者)	指標
社会	○		目標値		社会（4）②
環境			2030年	2020年末10万人 ↓ 2030年末15万人	具体的な取組
			(その他の場合) ()年		社会（4）ア

記載について

- ・ 「SDGs達成に向けた重点的な取組」は、3つまでご記入できます。
- ・ 必ず全ての分野（経済・社会・環境）の達成を宣言してください。
(1つの取組みで3つの分野を達成しても、複数の取組みで3つの分野を達成しても構いません)
- ・ 指標 (KPI) は、原則として数値目標を記載してください。

地域課題への取組み

団 体 名 西日本ペットボトルリサイクル株式会社

私たちは、地域課題の解決を通じてSDGsを達成するため、北九州市の取組みに参加しています（今後、参加します）。

取組名	具体的な取組内容
19 道路サポーター制度	弊社は道路サポーター制度に登録しており「市民いっせいまち美化の日」事業への参加を毎年おこなっている。
99 その他（市と連携した取組み）	エコタウンセンターと連携し、リサイクルの仕組みや環境に対する啓蒙活動のため工場見学を受け入れている。

記載について

- ・参考「企業等が参画可能な取組一覧」の中から、現在取り組んでいるもの（今後取り組むもの）を少なくとも一つ選択し、具体的な取組内容を記載して下さい。
- ・これから取組みを始める場合は、選択した取り組みの担当部署に連絡をし、所定の手続きを済ませた上で本書を提出して下さい。
- ・参考「企業等が参画可能な取組一覧」以外で、貴団体が自主的に行っている取組みについても、併せて記載いただいても構いません。